

## 熊本城天守閣復旧整備事業について

### 1. 工事状況

【大天守】・・・・・・6階：瓦葺・下見板取付、4～5階：瓦葺、躯体補修、1～3階：瓦葺

【小天守】・・・・・・崩落石・栗石回収・積込・運搬、石材調査、石垣測量

### 2. 天守閣内部に関する取組状況と今後の予定

- ・ 平成29年4月17日 第1回天守復興部会

<審議事項>

耐震化、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン、展示について（展示ストーリーについて）

- ・ 平成29年6月9日 第2回天守復興部会

<審議事項>

展示について（周辺施設との連携・補完について、展示（たたき台））

- ・ 平成29年7月24日 展示・内装基本設計業務委託契約締結（平成30年2月28日まで）

- ・ 平成29年8月4・5・6日 「みんなの熊本城」プロジェクト：オープンハウス開催

- ・ 平成29年8月18日 第3回天守復興部会

<審議事項>

展示について（周辺施設との連携・補完、展示コンセプト、展示配置プラン等）

- ・ 平成29年8月27日 「みんなの熊本城」プロジェクト：ワークショップ開催

- ・ 平成29年10月23日 第4回天守復興部会（中間報告）

<審議事項>

展示について（ゾーニング、イメージパース、城郭・城下町模型、触察模型、AR／VR）

- ・ 平成30年1月15日 第5回天守復興部会（最終報告）

- ・ 平成30年1月5日～2月3日 熊本城復旧基本計画（素案）に対するパブリックコメント

- ・ 平成30年1月28日 「みんなの熊本城」プロジェクト：市民シンポジウム開催

### 3. 第4回天守復興部会での委員意見と対応策について（案）

#### 1)「銃眼」についてはどう扱うか(今村委員)

⇒ 資料3 大天守・小天守各階のゾーニング・動線計画（特に1階の天守構造・意匠について再整理）

⇒ 資料3 1階サブエリア（マニアックな城解説にて、狭間（銃眼）・石落し・忍返しなどを扱う）

⇒ 資料5 1階イメージパース 軸組模型 及び 模型周辺の展示手法など

2)クロスダンパーの色や素材、例えば木造の柱のようなイメージを貼り付けるなどができればイメージが変わると思う(毛利委員)構造物を何かで隠す、例えば木構造の柱が通っているような形にすれば、見た感じが変わると思う(今村委員)クロスダンパーは興ざめなので、木製の柱のような施しをして石垣を見せては(谷崎委員)。熊本城にそういう木構造がかつてあったのかも知れないという誤解が新たに生まれる恐れがある(伊東部会長)

→石垣は大いに見せる。ダンパーは基本的には見せる方向で行くけれども、その下の井戸・竈周辺に関して、興ざめにならない程度で少し背景を考えるとということで次回事務局より提案を(部会長総括)。

⇒ 資料4 耐震化(大天守・小天守地階各方向について 穴蔵内におけるクロスダンパー等の見せ方など)

⇒ 資料5 地階穴蔵イメージパース 平面表示案

3)井戸は釣瓶で水を汲んだはず。滑車など復元はしないのか(今村委員)。穴倉の環境復元については絵図など平面的な情報しかないの、立体的には復元しない方法もありうる(伊東部会長)。

→井戸・竈・板敷きを平面的な根拠しかなく復元できないということであれば、埋蔵文化財の遺構表示のような方法に留めておけば壁までは不要で、立体復元はやめておくこともできる(部会長総括)。

→次回部会までに監修者である平井委員長・伊東部会長にもご意見をいただきながら、また次回ご提案させていただく(事務局)。

⇒ **資料3** 地階穴蔵イメージパース 平面表示案

⇒ **資料5** 室内意匠(井戸・竈・板敷きほか)復元演出・監修、小天守階段の展示解説(遺構展示)

4)今回の地震に関して、どこでどういうふうに伝えるのか(西嶋委員)

どこかに震災コーナーが必要だ。小天守穴倉や人の流れが落ち着いた1階スペースでもいい(富田委員)

⇒ **資料5** 4階(平成28年熊本地震の被害、一口城主、復興城主、芳名板サイネージの設置など)

5)天守閣に入る人はどういう対象者を想定しているか。時間がある方やアクティブな方たちに、より広範囲に熊本の歴史遺産・施設を体験していただきたい(本妙寺・泰勝寺・妙解寺・古城・城下町など)。展示をどういうふうにネットワークしていくか少し工夫してほしい(西嶋委員)

⇒ **資料5** 6階イメージパース 展望案内・熊本城の歴史に関連する施設の紹介など。

(各階展示内での関連付け・施設紹介はQRコード等で対応、展示の妨げにならないよう工夫。)

6)エレベーターの色合いは下層階の展示室の内装・色合いとの兼ね合いもあるだろうから、最上階に来て極端に変わるよりも、天守閣全体で連続性を持たせるべき(西嶋委員)。

⇒ **資料5** 6階イメージパース エレベーターの仕様、色合いを含む

7)以前の床材は「人研ぎ」であったが、改修後はお年寄りでも疲れにくい床材がよい(西村委員)

⇒ **資料5** 内装計画(全体を通した色合い統一・柱や壁など木調採用の可否・床材の種類など)

8)古い絵図は何を見せたいのかわかりやすく展示してほしい。また城郭・城下町模型をクリーニングして再利用するのであれば、惣構の中の城門・土塁も綺麗に塗り直してわかりやすくしてほしい(毛利委員)。

⇒ **資料5** 2階イメージパース 城郭・城下町模型及び模型周辺の展示手法など

9)小天守入口を入ってすぐの大型スクリーンを使った演出について。熊本城に入ったとイメージが湧くのであるほうが良い(毛利委員)。元々主要構造物が全然違うのであっても良い(西村委員)。あまり必要ない(今村委員)。なくても良い(伊東部会長)。コンテンツは何を映し出すのか示してもらい、それから判断した方が良い(西嶋委員)。

⇒ **資料7** 映像コンテンツ案(特に小天守入口:大型スクリーンのコンテンツ案)

10)マスタープラン(城全体の展示体験)、復旧基本計画(いつから天守閣に入れるのか、他のゾーンはいつ入れるのかという時間軸)、今後20年の道のりについてどこかの時点でこの部会でもあるのか(西嶋委員)。

⇒ **資料8** 事業計画(基本設計・実施設計・施工スケジュール、今年度委員会・来年度部会の予定)